

JAきたみらい

おきたみらい サタダ

2026



vol.284

9

はいっ ポーズ!

《訓子府地区・弥生》

柴田^{のぶ}悠さんと梨紗^{りさ}さん・芽空^{めくう}くん・陽万利^{ひまり}ちゃん
(紹介は2ページです)

特集

実りの秋だ
国消国産を語ろう



馬鈴しょ収穫最盛 ～平年作以上の収量に期待～

ＪＡきたみらい管内では馬鈴しょの収穫作業が本格化しています。今年の収穫作業は平年並みに進み、収量は平年作以上が期待できそうです。

置戸地区でゆめいころ、スノーマーチ、さやかを約12畝作付けするきたみらい馬鈴薯振興会の渡邊健太郎副会長は8月24日から収穫を始めました。収穫にあたって「収穫を始める時期に降雨があったが、選別をしっかり行い歩留まりを上げられるように頑張りたい」と話しました。

当ＪＡでは今年度、食用の作付面積は約1,200畝、生産量は約43,000㍑、加工用の面積は約450畝、生産量は約15,000㍑、種芋用の面積は約320畝、生産量は約11,000㍑を見込んでいます。

季節の薫り



おひさまサラダ

をホームページで 閲覧できます！

広報誌「おひさまサラダ」を当ＪＡのホームページで紹介しています。

右下にあるＱＲコードから閲覧できますので、ぜひご覧下さい。



もくじ CONTENTS

特集	4
実りの秋だ 国産国産を語ろう	
○季節の薫り……	2
○表紙紹介…… 「思いやりのある優しい子に 育ってほしい」	2
○ＪＡトピックス……	6
○みらいプロジェクトチャンネル……	9
○ＪＡからのお知らせ……	10
○まちがいがし……	14

表紙紹介

思いやりのある優しい子に育ってほしい

夏の暑さが落ち着いてきた8月26日、訓子府地区の柴田さんのお宅を訪ねると、芽空くんが陽万莉ちゃんをお父さん、お母さんと一緒に迎えてくれました。

長男の芽空くんは明るく人見知りのない性格で、外遊びや庭で収穫したフルヘリを食べるのが大好きです。最近では話せる言葉も増えてきおりおしゃべりをたくさんしています。ハマっているものはアンパンマンでもちやもたさん持っています。

長女の陽万莉ちゃんはとても表情が豊かで、笑顔が素敵です。よく「おかあさんといっしょ」を見て、お兄ちゃんと一緒にリズムに乗って踊っています。また、お兄ちゃんが遊んでいるおもちやをハイハイで取りに行くと、それを見たお兄ちゃんも怒ってしまいます。

2人とも食いつく坊で取材中もおやつを食べていました。特に果物や卵ボーロ、ベビーせんべいが大好きです。

2人の名前の由来は、芽空くんは「空を目指す芽のように真っ直ぐ自分の夢に向かって元気にたくましく育ってほしい」という意味を込めてつけられました。

陽万莉ちゃんは「明るく前向きに、たくさん幸せに恵まれ、周りから愛され元気に育ってほしい」という意味を込めてつけられました。

そんな2人のご両親は「元気に明るく色々なことに挑戦してほしい。そして、思いやりのある優しい子に育ってほしい」とメッセージを送りました。

※今月号の表紙と表紙紹介は柴田さんに撮影していただきました。ご協力ありがとうございました！



【ご家族紹介】

左から～お父さんの悠さん(35)、お母さんの梨紗さん(36)
長男の芽空くん(1)、おばあちゃんのひとみさん(68)
長女の陽万莉ちゃん(0)、おじいちゃんの豊喜さん(69)
作付内容：小麦、てん菜、馬鈴しょ、加工スイートコーン、
ごぼうを作付けしています。

国産を語ろう

クイズ監修・管理栄養士・小嶋絵美

毎年10、11月は国消国産月間です。

国消国産とは、「私たちの国で消費する食べ物は、できるだけこの国で生産する」という、JAグループのメッセージ。

この期間は、食や農に関心を持ってもらえるよう、全国各地でイベントやキャンペーンが行われます。

食の未来を自分ごととして捉え、国産を選ぶ価値を考えてみませんか。

人にしゃべりたい

細かすぎる

農畜産物クイズ



©みんなのよい食プロジェクト

Q1 良質のタンパク質を含むとされるのはどちらでしょうか？

- A 米
B 小麦

Q2 ブドウの最も甘い部分は次のどこでしょうか？

- A 房の上の部分
B 房の下部分

Q3 本当にある牛肉の部位はどれでしょうか？

- A マメ
B イモ

Q4 私たちは栗のどの部分を食べているのでしょうか？

- A 果肉
B 種

Q5 乳牛・ホルスタイン1頭から1日に搾れる牛乳の量は？

- A 平均10〜15L
B 平均20〜30L

Q6 人と豆には共通するあるものがあります。それはどこでしょうか？

- A 口
B へそ

Q7 お茶には、抹茶や緑茶、紅茶などの種類がありますが、これらの違いはどのような理由からくるのでしょうか？

- A 木の種類が違う
B 栽培管理や製造過程が違う

Q8

シイタケにはビタミンDが豊富に含まれているといわれますが、さらにビタミンDを増やす工夫はどれでしょうか？

- A 日光に当てる
B じっくり火を通す

Q9

同じ作物を同じ土地で何年も連作したときに発生する病害や生育障害を連作障害といいます。ほとんどの作物で発生しますが、連作障害が起きにくいとされる作物があります。どれでしょうか？

- A 水稻
B 小麦

Q10

サツマイモの花とそっくりな花があります。それはどれでしょうか？

- A バラ
B アサガオ

解説

- ①食品に含まれるタンパク質の質を100点満点で評価する「アミノ酸スコア」は、精白米が80、小麦が42です。米と大豆や肉、魚を組み合わせるとさらにバランス良く栄養を取ることが出来ます。
- ②ブドウは房の上側(軸の方)から甘くなり始め、成熟が進むにつれて下側も上側の糖度に追いついていきます。
- ③牛の腎臓は、豆がブドウの房状に集まったような見た目から「マメ」と呼ばれています。しこしことした歯応えが特徴です。
- ④栗の茶色く堅い「鬼皮」が果肉、とげとげの「いが」は皮に当たります。
- ⑤乳牛1頭からは1日に約20〜30Lの牛乳が搾られます。乳牛は出産後、毎日搾乳しないと乳房炎という病気にかかってしまうため、1日に2回など欠かさず搾乳が必要です。
- ⑥人のへそはへその緒が取れた跡で、母親から栄養をもらっていた場所です。豆のへそも細い管でさやとつながっていて、そこから栄養をもらって大きくなります。
- ⑦緑茶・紅茶・抹茶は同じ「茶の木(チャノキ)」の葉から作られますが、製造方法や栽培方法が異なります。紅茶は収穫した茶葉を発酵させて作り、抹茶は収穫前の20日ほど日光に当てずに栽培した茶葉を粉末にします。
- ⑧生シイタケは日光に当てるとビタミンDが増え、香りも増します。食べる前に1、2時間軽く干しておくだけでも効果があります。
- ⑨水田は水を張ることによって養分が補給され不要な成分が流される他、有害な微生物や虫が減るため、連作障害が起こりにくいといわれています。
- ⑩サツマイモとアサガオは、どちらもヒルガオ科サツマイモ属の植物で、花や葉がよく似ています。サツマイモの茎をアサガオに接ぎ木すると、アサガオの花が咲くといった面白い特徴もあります。

景観

早わかり国消国産の要点整理

食することは、未来を選ぶこと

普段の買い物や食事の選択は、私たち自身だけでなく、次の世代の「食の未来」にまで影響します。日本は現在、食料の約6割を海外からの輸入に頼っています。もし輸入が止まったら——。そんなリスクを減らすために今、進めたいのが「国消国産」です。

災害に備えるように

「国消国産」運動を進める背景には、日本の食料事情があります。日本の食料自給率はカロリーベースで38%と、先進国の中でも低い水準にとどまっています。食料は輸入に依存しているのが現状で、国際情勢によっては突然、輸入が止まるというリスクを抱えています。

しかも、日本の農業は生産者が減り続けており、食料が必要になってもすぐに十分な量を生産できる環境ではありません。

災害に備えるように、普段から国産を選ぶことが、将来の食料を守る行動になるのです。

地産地消は国消国産の原点

「国消国産」と似た言葉に「地産地消」があります。地域で生産されたものをその地域で消費する取り組みです。

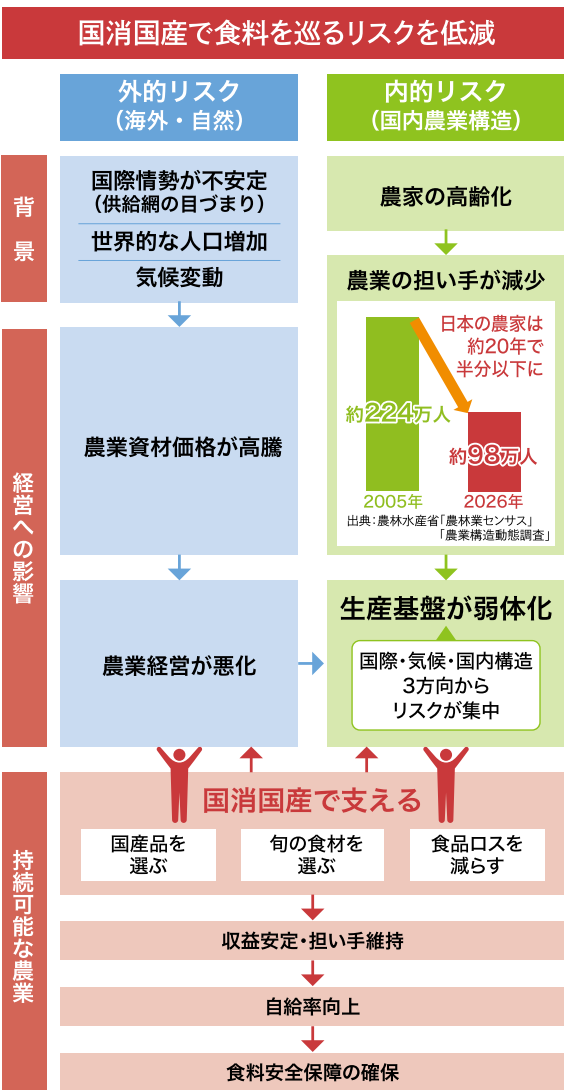
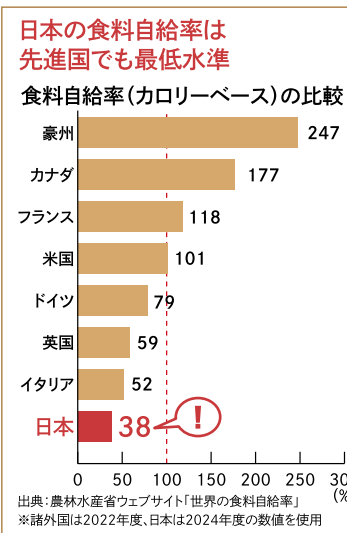
「地域で取れたものを食べる」「JA直売所で買う」「売り場で国産を選ぶ」「外食の時にも国産食材を使っているお店を選ぶ」——。その積み

重ね、その行動こそが国消国産となります。地産地消は、農畜産物の輸送距離が短く新鮮で環境負荷が少ないなどのメリットがあります。

「選ぶ」ことがすてに「行動」

野菜や肉を購入するときは産地表示を確認し、できるだけ国産品を選ぶこと、外食や加工食品でも国産原料に注目することが大切です。

旬の食材を選ぶことも有効です。旬の農畜産物は国内で安定して生産されることが多く、価格も比較的手頃で、味や栄養価も高い傾向があります。さらに、食べ残しを減らす「食品ロス削減」も重要です。せっかく生産された農畜産物を無駄にしないことも、農業を支える行動につながります。日々の小さな選択が、未来の食を守る力となるのです。



10月16日は「国消国産の日」

国消国産月間はキャンペーンいろいろ

JAグループは国連の「世界食料デー」に合わせ、毎年10月16日を「国消国産の日」としています。また、10、11月の「国消国産月間」の期間中は、①JA直売所を複数回訪問すると全国の農畜産物が当たる「JA直売所キャンペーン」や、②JA全農の通販サイト「JAタウン」ではお客さまの送料負担なしとなる「JAタウンキャンペーン」——など、JAグループ各組織がイベントやキャンペーンを展開します。10月3日(土)には東京都内で大都市圏の消費者を対象にイベントを開きます。





J A トピックス

7年ぶりに実習生を迎え、 充実の実習終える

～酪農実習生受入協議会～

酪農実習生受入協議会は6月30日から7月31日までの約1か月間、実習生の受け入れを行い、無事に実習を終えました。

同協議会は訓子府町の会員4人が所属し、大塚正夫会長のもとで酪農実習生の募集、受け入れを行っています。しかし、応募者の減少や希望条件と受入れ側のミスマッチなどの理由で、コロナ禍以降は実習生の採用がなく、7年ぶりの受け入れとなりました。

今回実習を行った、台湾の國立中興大學に留学中の岩田琉花さん



▲搾乳準備の様子



▲除糞作業の様子

は、酪農の現場で動物と関わりながら実践的な知識を身に付けたいという思いで応募。会員の梶田直樹さんの家に住み込みで、1か月間牛舎の清掃や哺乳、搾乳作業の補助などを行いました。

1か月の実習を終えて岩田さんは「酪農家の経営や作業内容、牛の詳しいことなど、学校では学べないことをたくさん学ぶことができた。実習期間中は梶田さんご家族にとても親切にしてください、楽しく充実した1か月だった」と話しました。

小麦や玉ねぎなどに触れて 楽しむツアーを開催

～JAきたみらい青年部×北見市観光協会～

JAきたみらい青年部本部は7月26日、(一社)北見市観光協会と共同で「自然の恵みを体感！小麦の収穫見学と玉ねぎ収穫体験ツアー」と題したイベントを実施し、管内を中心に道内外から8組19人が参加しました。

このツアーは地域活性化を目的に、農業体験を中心に北見市の産業に触れ、興味を持ってもらうため毎年企画。キタノタミの我妻健児氏や青年部役員、JA職員らの案内のもと、収穫体験や見学などを通して、地域農業について知っ



▲玉ねぎ収穫後、みんなで集合写真



▲青年部の松井理事から小麦について教わる参加者

てもらうきっかけとなりました。ツアーの最初は竹下託矢副部長の園場で玉ねぎの収穫体験を行い、参加した役員とも交流しながら、袋いっぱい玉ねぎを収穫しました。その後は北見市豊地の津村製麺所を訪れ、津村健太社長の案内のもとで工場を見学した後、昼食としてオホーツク産きたほなみ100%の生ひやむぎをいただきました。午後は訓子府町で秋まき小麦の収穫作業を見学。役員の案内で実際に畑に入り、コンバインによる収穫作業や小麦の様子などを見学しました。

玉ねぎ収穫順調、豊作に期待

～きたみらい各地で収穫作業最盛～

当JAでは玉ねぎの収穫が最盛期を迎えています。管内各地では7月下旬から収穫作業が始まり、根切りを終え仕上がった玉ねぎをピッカーやハーベスタで拾い上げ、次々とコンテナに詰め込んでいます。

端野地区で玉ねぎを約11トン作付けする、きたみらい玉葱振興会の中崎純一副会長は「今年は生育期を通じて気温が安定して推移し、



▲▼玉ねぎ収穫作業の様子



作業がしやすい環境が続いた。ここ数年は思うような品質にならない年が続いたが、今年は久しぶりに手応えを感じながら収穫作業にあたっている。この高品質な玉ねぎを、全国の皆様に安定してお届けできれば」と語りました。

今年度、当JAでは玉ねぎの作付面積が約4,600畝、生産量は27万トンを予定しており、選果作業を終えた玉ねぎは、全国に向けて順次出荷しています。

きたみらいから7頭が1等に

～北見管内総合家畜共進会～

ホクレン農業協同組合連合会は8月22日、訓子府町の北見管内畜産総合施設で、第74回北見管内総合家畜共進会(乳用牛の部門)を開催しました。管内の7JAから合計138頭の乳牛が出品され、17部門に分かれて体型の美しさや骨格の力強さ、乳房のバランスなど資質の優劣を競い合いました。

審査員は北海道ホルスタイン農業協同組合審査部企画課の田村知正課長が務めました。

当JAからは昨年よりも多い55頭を出品。同共進会の上位入賞牛は全道共進会(乳用牛の部門)へ



▲審査の様子



▲ジュニア・チャンピオンは北見地区吉野裕規さんの「ヨシノファーム ジャスミン スネーク アイズ」(右)とリザーブ・ジュニア・チャンピオンの北見地区山内牧場の「DH ホア ケール」(左)

の出場権を獲得することあつて、出品者は出品牛が美しく見えるように入念に手入れを行い挑みました。

審査では、当JA出品牛の7頭が1等に入賞しました。そのうち3頭がジュニア・チャンピオン、リザーブ・ジュニア・チャンピオン、リザーブ・ジュニアカップ・チャンピオンに輝きました。

9月26日と27日に安平町で行われる2026北海道ホルスタインナショナルショウには当JAよりジュニアカップ2頭を含む20頭が出場する予定です。

みらいプロジェクトチャンネル

食料品小売店について⑤

vol.61

北海道大学大学院農学研究院 李 澍

農村地域にある食料品小売店を守るヒントを求めて向かったアメリカ・カンザス州は、北海道の約2倍の面積を持ち、人口は約290万人。「小麦の州」と呼ばれるほど農業が盛んで、北海道と同じように畑作や畜産がメインに営まれている。150年ほど前の中部開拓とともに農村が発展し、その後、工業の衰退とともに農村人口が流出し、都市への人口集中が進んだという歴史も、北海道と重なるところがある。そんなカンザス州に、地域主体で食料品店を維持している事例が様々あることにまず驚いたのと、北海道よりも人口規模の小さいカンザス州に、どうしてこれほど多くの「地域のお店を守る」取り組みが生まれているのか。その疑問が、私の現地に行ってみようという気持ちを後押ししていた。

カンザス州での事例訪問を案内してくれたのは、農村地域にある食料品小売店の継続にまつわる支援とネットワーク形成を行っているカンザス州立大学のRGI (Rural Grocery Initiative) である。訪問前に「どの事例を見てみたいか」と聞かれ、私は「できるだけ地域の方たちが主体となって関わっている事例を見てみたい」と伝えた。行って驚いたのは、関わっている地域主体の多さと、話を聞くなかで見えてきたお店と地域の繋がりへの意識の強さだった。日本でも、住民が出資して閉店した店舗を引き継いだり、行政主導で公設民営の形を取ったりと、地域の食料品店を守る取り組みが各地で生まれている。私自身もそうした現場をいくつも訪ねてきた。そこで皆さんが口を揃えてまず語られるのは、お店がないことによって生じる買い物の不便さや、高齢者への配慮だった。実際にはそのお店の多くは前回や前々回の連載で取り上げた共同売店のように、買い物の場に留まらない様々な役割を果たしているが、それらについての言及や意識が、お店を維持する理由について語るときに前面に出てくることはあまりない。しかし、カンザス州のお店は違った。お店がなくなること、買い物をする場所がなくなること、様々な面から地域経済や地域コミュニティへの影響、活気や存続と結びつけて考えられていた。

ある地域では、地元の銀行が閉店した食料品店の建物を取得し、破格の家賃でテナントに貸し出していた。買い物のできない地域には若者は住もうとしない。家を建てる人がいなければ、銀行からお金を借りる人もいなくなる。食料品店を残すことは、銀行にとって自分たちの商売を守ることでもあった。近隣都市への通勤が多く、ただでさえ地域内での人の交流が少ない別の町では、町にこれ以上活気が失われていくことや、地域内の他のビジネスへ波及する危惧から、地元で働く有志が中心になって運営委員会を立ち上げ、地域単位での運営維持を始めさせていた。さらに学校が主体となって運営する事例では、誰にでも開かれた日常の場としてある食料品店の性質に目をつけ、「学校と地域が繋がる場所」「学生が実践を学ぶ場」という需要を掛け合わせ、食料品小売店に新たな意義を付して、閉店した店の再開を果たしていた。

そこで私は、これまでお店を主語に地域をみていたが、地域を主語にお店をみるからこそ大事なのだと気づかされた。(つづく)



JA トピックス

夏の北海道大規模農業体験学習

～高知県の高校生9人が農業に奮闘～

8月20日から25日まで、インターネット推進事業「夏の北海道大規模農業体験学習」として、高知県内3校の高校生9人がオホーツク管内を訪れました。

当JAでは高知農業高校の5人、幡多農業高校の3人、春野高校の1人が受入先の組合員宅で22日から24日まで農業体験を行いました。北見地区北光の小野俊浩さん宅で農業体験を行った、春野高校の

高橋恵さんは「北海道の農業は高知県とは違い一戸当たりの畑が広く驚いた。気候は思っていたよりも暑く、玉ねぎは初めてで大変だった。北海道ならではの体験が出来たため今後に活かしたい」と話してくれました。

24日は小麦乾燥調製貯蔵施設と玉ねぎ集出荷選別施設を視察し、全行程が終了しました。



▲雑草を抜く作業の様子



▲施設の説明を受ける高校生

馬鈴しょの収穫体験を通して農業を学ぶ

～端野小学校3年生～

端野小学校は8月26日、端野地区の農事組合法人豊北のうらおいファームで馬鈴しょの収穫体験を行いました。今年は同小学校3年生33人が参加しました。

この取り組みは北見市農業振興会議端野自治会が主催で、端野自治会の基幹産業である農業の振興と発展を目的とした「地産地消振興事業」の一環として、例年実施されています。端野自治区内で生産されている安心・安全でおいしい農産物の収穫体験を通じて、食の大切さや生産者への理解を深めてもらい、地産農産物の消費

拡大につなげていくことを目的としています。

参加した児童は「たくさんとるぞー」「大きいのがとりたい！」と声をあげながら一生懸命に収穫しました。

同法人代表理事組合長の平川千春さんは「前日から雨が続き開催が危ぶまれたが、今年度も無事に開催できてよかった。この事業は今年で16回目となるが、今回の児童は特に元気いっぱい、たくさん収穫してくれた。この体験を通して農業を学び、関心を持ってもらえたら」と話しました。



▲開会式の様子



▲一生懸命馬鈴しょを収穫する児童たち

INFORMATION

くんねっぷメロン40玉を贈呈

～訓子府町メロン振興会～

訓子府町メロン振興会は7月17日、同町役場で教育機関へくんねっぷメロンの贈呈式を行いました。

日頃からのメロン生産支援に対する町への感謝と、地元子ども達に町の特産品を味わってほしいという思いから企画したもので、今年で3年目。同振興会の水上勝弥会長と北野祐作副会長が出席し、くんねっぷメロン40玉が町長へ手渡されました。

水上会長は「生産者の理解と協力に感謝している。今年は出荷が例年より遅れたものの、品質は良好。町には日頃からさまざまな支援をいただき、その恩返しの気持ちも込めている。本来は多くの町民の皆さんに味わっていただきたいが、まずは子どもたちにおいしく食べてほしい」と話しました。

提供されたメロンは、同月22日に町内のこども園や学校の給食で振る舞われました。



▲贈呈式の様子
(左から高橋教育長、伊田町長、水上会長、北野副会長)

第7回 理事会報告

8月27日、午前9時45分より第7回定例理事会が開催され、報告事項19件、決議事項4件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】
- ①監事監査報告について（令和8年度コンテナ・共計品D B等、販売企画部共計本精算・畜産部受託販売）
 - ②内部監査報告について（購買部、販売企画部共計本精算）
 - ③財務状況報告について
 - ④令和8年度上半期実績及び決算見込みについて
 - ⑤信用事業取引における反社会的勢力等との取引排除に係る対応状況について
 - ⑥人事の発令について
 - ⑦燃料手当の支給について
 - ⑧中央会・ホクレン合同役員海外視察研修の実施について
 - ⑨令和8年度農地評価単価基準について
 - ⑩作況調査（8月15日）報告について
 - ⑪令和8年度 玉ねぎ・馬鈴しょの選果販売状況について
 - ⑫玉ねぎ茎葉処理施設事故に伴う再発防止に向けた取り組みについて
 - ⑬令和8年度 小麦の収穫及び品質の状況について
 - ⑭生乳生産状況及び個体取引価格状況について
 - ⑮令和7年度酪農畜産関連補助事業実績管理表について
 - ⑯北見管内総合家畜共進会について
 - ⑰組合員状況報告について
 - ⑱対策農家の上半期の状況について
 - ⑲農政連絡情報について

- 【決議事項】
- ①理事に対する資金の貸付について
 - ②規程類の改正について
 - ③令和8年度 夏期地区別懇談会Q & Aについて
 - ④令和7年 P C N発生に係るJ A支援額決定について

～JAきたみらい東京事務所通信～ Vol.20

玉ねぎ出荷スタート。市場から『安心と信頼』の声！

令和8年産の玉ねぎの出荷が8月1日からスタートしました。

出荷開始に合わせて、玉ねぎグループと連携し、首都圏の市場を巡回し着荷確認を実施しました。市場では、荷姿や玉揃い、品質を確認するとともに、市場担当者から販売状況や評価について意見を伺いました。

東京新宿ベジフル株の稲垣課長は「本

年は品質も玉サイズも良い。生育も順調と聞く。年間を通じて計画を立て、しっかりと販売していきたい」と話し、現場ではきたみらい産玉ねぎへの期待や評価の声を数多くいただきました。

東京事務所では、引き続き市場との情報交換を重ね、消費地の評価や販売動向を産地へタイムリーにつなげ、本年産玉ねぎの販売促進に取り組んでいきます。



▲東京新宿ベジフル場内の様子 ▲産地から届いた玉ねぎ ▲荷姿・玉揃いともに良好 ▲検品の様子

新規採用のお知らせ



販売企画部
馬鈴しょグループ
もりや ゆうすけ
森谷 友祐

昭和61年生まれ
札幌学院大学
（社会情報学部社会情報学科）卒業
趣味・好きなもの
ドライブや読書すること

仕事を一つひとつ覚え、組合員の皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。



販売企画部
玉ねぎグループ
ふわ れん
不破 廉

平成15年生まれ
北見緑陵高等学校 卒業
趣味・好きなもの
よく寝ること、
温泉に入る

一日でも早く仕事を覚えて、皆様のお役に立てるよう頑張ります。

家族で一緒に貴重ないも掘り体験

当JAや北見市、北見土地改良区などで構成する「がぶりかるちゃー事業実施委員会」は8月22日、「家族いも掘り体験」を北見市で開催しました。

同事業は、昭和63年の初開催から今年で39回目の実施。当初は農産物の収穫祭や料理教室を開催していましたが、平成14年からは家族で参加するいも掘り体験が恒例となっています。

当日は市内の家族を中心に146組、527名が参加しました。参加者は、1組約1.5坪の区画が割り当てられ、スコップや鍬を使って畝を掘ったり、じゃがいもに傷がつかないように、手で丁寧に土をかき分けて掘り出しました。

じゃがいもを掘り出すと「うわー！」と喜びの声をあげていました。

参加した男の子は「暑い中大変だったけど、大きなじゃがいもがたくさん掘れてとても嬉しかった。家で食べるのが楽しみ」と笑顔で話しました。

いも掘り体験後は抽選会が行われ、当選者には玉ねぎや加工品が景品として渡されました。



▲いも掘り体験を行う参加者



▲いも掘りをする男の子

女性農業者支援のお知らせ

当JAでは、近年のスマート農業普及に伴い、女性農業者がトラクター等に乗る機会が増えている状況を踏まえ、農作業安全推進等の観点から令和4年2月1日より下記のとおり女性農業者向けの支援を行っております。内容をご確認のうえ、該当される方はぜひご利用ください。

※令和4年2月1日の支援創設時より内容の変更はありません。

○支援内容

令和3年2月1日以降の下記の免許取得費用に対して最大10万円を支援します。

運 転 免 許		作 業 免 許			
大型特殊	牽 引	フォークリフト 運転技能講習	車両系(整地等) 運転技能講習	玉掛技能講習	小型移動式クレーン 運転技能講習

○対象者

J A管内で年間60日以上農業に従事している女性農業者で、J Aの正組合員資格を有しており、J Aが定める「親元就農支援」の支援を受けていない方で下記のいずれかに該当する方

- ・経営者、またはその配偶者である方
- ・経営者の子ども、孫にあたる方（その配偶者である方）
- ・農業生産法人の従業員である方

○昨年までに17人を支援しています

年度	支援人数	支援額	支援した免許
R 4	6人	60万円	大型特殊
R 5	5人	50万円	大型特殊、牽引
R 6	2人	20万円	大型特殊
R 7	4人	40万円	大型特殊

その他、不明な点等がございましたら担当までご連絡ください。

（担当：担い手グループ TEL24-2145）

INFORMATION

JAきたみらい
6給油所合同
10月8日
(木)
～予定～

第1弾!!
店頭ガソリン・軽油満タン給油
20L毎に
最大2P
プレゼント!

第2弾!!
店頭ガソリン・軽油
10L以上給油で
翌日から使える
3円引きQRクーポン
発券いたします!
有効期限: 11月7日(土)迄(1回限り)

秋の感謝祭

※キャンペーン内容は、都合により変更になる場合がございます。※この画像はイメージです。確定次第改めてご案内いたします。

燃料配送センター (燃料配送関係)

きたみらい給油所お知らせ

【住所】 北見市瑞野町三区483番地17
JAきたみらい瑞野地区事務所 2階
【連絡先】 TEL: 0157-57-3355
FAX: 0157-57-5996
【営業時間】 平日 8:00～17:00
土曜・祝日 8:00～12:00
【定休日】 ・毎週日曜日
・12/31～1/3

燃料配送に関わるご注文につき
ましては、配送センター (左記)
へご連絡ください。
※全地区の受付を行うため、油種・数量、
日時等の確認の他、配送先間違い防止の
為フルネーム・市町村名・電話番号の確
認をさせていただきます。
ご不便をお掛け致しますが、ご協力をお
願い致します。

9月 SEPTEMBER 9月

クーポンは毎月発行 (次回は広報誌10月号) します。9月のクーポンは10月15日までが使用期間です。
クーポンは下記を切り取るか、スマホなどでQR部分を拡大せず画像保存や印刷をしてご使用ください。

9月の割引QRクーポン
～店頭ガソリン・軽油～
5円/L (税込) 引き!

有効期限: 9月11日～10月15日
※期間中何度でもご使用できます。
QRコードはスマホ等で画像保存していただくか、切り取り線から
切り取ってご使用下さい。※拡大・縮小はせず保存して下さい
●取扱給油所・お問合わせ先●

QRコード

●中ノ島セルフ ●瑞野セルフ ●相内セルフ
☎0157-31-1050 ☎0157-56-4112 ☎0157-37-2519
●訓子府セルフ ●温根湯フル ●置戸フル
☎0157-47-4831 ☎0157-45-2446 ☎0157-52-3869

※必ず給油前にご提示 (フル)・QRの読み (セルフ) を行ってください。
(給油後の提示・読みは、割引対象外となります。)
※QRクーポンを忘れた (不所持) 場合は、通常給油となります。
※商品券・給油券と併用できます。(R8.4.1より)
※QRクーポンは複数枚のご使用はできません。(1回につき1枚となります。)

JAきたみらい
2026年9月1日(火)～2027年4月30日(金)

教育ローン
キャンペーン

どなたでもご利用いただけます
・ご希望により団体推薦書・推薦状にご記入いただけます。
・ご記入による審査につきましては、金利減額による
お褒めのご負担となります。

固定金利
年3.00%
～3.60%

キャンペーン金利
2.60%
～3.20%

教育ローン申込概要

JAきたみらい

本 店 瑞野支店 訓子府支店 上野呂支店
北見市瑞野町三区483番地17 ☎0157-57-3355 北見市瑞野町三区483番地17 ☎0157-57-3355 北見市訓子府町大町158番地 ☎0157-47-4820 北見市上野呂町三丁目14番地 ☎0157-38-2122
温根湯支店 置戸支店 相内支店 瑞野支店
北見市温根湯町三丁目17番地 ☎0157-45-2446 北見市置戸町字置戸4番地 ☎0157-57-7070 北見市相内町184番地 ☎0157-37-2022 北見市瑞野町三区483番地17 ☎0157-57-3355

JAきたみらい
2026年8月4日(火)～2026年12月30日(水)

定期貯金
特別金利キャンペーン

預入期間 5年
通年金利 1.00%
(税引後 0.796%)
→ 1.20%
(税引後 0.956%)

預入期間 3年
通年金利 0.80%
(税引後 0.637%)
→ 1.00%
(税引後 0.796%)

お取引条件

JAきたみらい

本 店 瑞野支店 訓子府支店 上野呂支店
北見市瑞野町三区483番地17 ☎0157-57-3355 北見市瑞野町三区483番地17 ☎0157-57-3355 北見市訓子府町大町158番地 ☎0157-47-4820 北見市上野呂町三丁目14番地 ☎0157-38-2122
温根湯支店 置戸支店 相内支店 瑞野支店
北見市温根湯町三丁目17番地 ☎0157-45-2446 北見市置戸町字置戸4番地 ☎0157-57-7070 北見市相内町184番地 ☎0157-37-2022 北見市瑞野町三区483番地17 ☎0157-57-3355

CARRY
JA特別パッケージ

全道統一価格 130万円
きたみらいなら!
1万円引き
129万円
スーパーキャリイ・エブリイも
全道統一から
最大27,000円引き!

SUPER CARRY
JA特別パッケージ

EVERY
JA特別パッケージ

さらに! 軽トラ・軽バンをご成約で
スタッドレスタイヤ4本プレゼント!

お問合せ先: JAきたみらい農機自動車センター
訓子府町大町158番地 TEL: 0157-47-4820

13

12

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

出題・イラスト：ゆきたけし



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙か、右のQRコードに答え（番号）と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAX又は応募フォームでご応募下さい。

抽選で6名の方に、JAきたみらいの「玉ねぎせんべい」と「玉ねぎとチーズが溶け込んだポークカレー」をプレゼント致します。



8月号まちがいさがしの当選者

8月号のまちがいさがしの答えは「2、6、9、10、12」でした。

正解者26名の中から抽選の結果、下記の方々が当選しました。おめでとうございます。

- ・東海林 薫さま（温根湯）・牧 嶋 重 雄さま（訓子府）・澤 山 亜 紀さま（留辺蘂）
- ・稲 辺 和 江さま（訓子府）・菅 原 征 子さま（端 野）・織 田 揮さま（訓子府）

以上の方々には、JAきたみらいの「麦まるごとうどん」と「ゆめいころと手羽元のスープカレー」をプレゼント致します。

も う収穫の時期。これから取り入れまで無事に終わりますように。

（訓子府地区 長谷川 幸子さん）

収穫の時期を迎え、忙しい日々が続きますね。農作業事故や、急激な温度差による体調不良にはくれぐれもお気を付けください。また、全国で自然災害も相次いでいますが、大きな災害に遭うことなく、無事に収穫まで終わられますよう願っています。

VOICE 読者の声

JAきたみらい概要

（令和8年8月20日現在）

- ・組合員数（正） 1,571人
- ・組合員数（准） 5,313人
- ・組合員戸数（正） 805戸
- ・貯 金 118,995百万円
- ・貸 出 金 16,191百万円
- ・出 資 金 5,090百万円